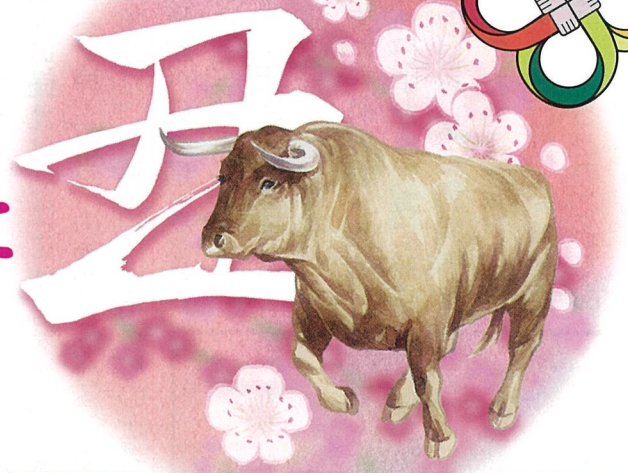


2021年 地域の皆様と共に 今日も元気で！



令和3年新春号 発行者／網代和夫 編集／あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会

新春のご挨拶



連合会長 網代 和夫

輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年度は、震災や台風豪雨がなかったものの、このコロナ感染症という未曾有の災害に見舞われ、コロナに開けてコロナに暮れそうと言っても過言でなく、どこもかしこも大きな行事がごとごとく中止となつてしまいました。御多分に洩れず多くの町内会・自治会も正直何も出来ていないのが実情かと思えます。

コロナの新規感染者はここにきて急増傾向にあり、予断を許さない状況にあります。一方、世界的には昨年暮れからワクチンの接種も始まり、収束に向かうであろう明るい兆しも見えてつづきます。今は、手洗い・マスクの装着・3密の回避等、一人ひとりが感染しない・感染させないを徹底しなければならぬと思えます。

現在、連合会では来年度に向け、意見交換会を通じ、当面の課題を整理深掘りする等、地域活性化の一助となるよう幾つかの取組を行つていきますので、本年もともに連帯して、安全で安心の地域推進にご尽力下さるようお願い致します。

「町内会・自治会 加入促進」について

事業部会 中村 守

あきる野市町内会・自治会への加入率は、高齢者の退会、若い世帯に魅力がない等のさまざま理由から年々下がってきているのが実情です。

そこで、事業部会では、町内会・自治会の活動内容や意義をもっともっと理解や再認識いただくよう、わかり易くコンパクトにまとめた「町内会・自治会あ・れ・こ・れ」という冊子を作成しました。

あきる野市には80を超える町内会・自治会があり、行事や会費などが異なり全ての内容を冊子にすることは難しく、共通すると思われる内容を選別しました。この冊子を全会員の皆さまのところに配布致しますので、ご覧いただき今後の地域活動の中に活かしていただくと共に、町内会・自治会を更なる絆を深めるコミュニティに育てていただきたいと思います。

また、未加入世帯の方へのご案内に活用していただき、防犯・防災・交通安全・環境美化・児童・高齢者の見守り・福祉活動・地域行事など具体的な活動内容の理解促進を図り、笑顔の寄り添う街づくりのツールとして下さるようお願い致します。



余 瀝

これは謹厳実直なある町内会役員述べです。▼「何となく、今年はいい事あることし。元旦の朝、晴れて風無し。」正月になるといつも口ずさむ石川啄木の歌です。新年にあたり、

どなたも願うのは新型コロナウィルスの早期の収束でしょう。しかし、コロナ禍により社会の在り方や己の生き方を沈潜し見つめなおした方も多いのではないのでしょうか。現実を懐疑しあるべき姿を考える良い機会ではないでしょうか。それは町内会・自治会活動にも言えることだと思います。私はこう考えてみました。活動していると色々悩みや不安や不満が募ります。新規加入者がいない、退会者が増えている、活動参加者が少ない等々。しかし、この活動は他でもない、自分のためでもあります。街い過ぎかもしれませんが、地域の皆さんと協力して少しでも住みよいコミュニティを作るために日々奔走するのは己が哲学を実践することです。それは人間ですから不平不満は抱きますが、それも行動の中で昇華して行きます。▼自分の時間を犠牲にして、滅私奉公のような行動をとらなければならぬ時もあります。自己満足かもしれないませんが、人のために働くということはそういうものだと思います。世の中には様々なボランティアがありますが、町内会・自治会の活動は究極のボランティアです。それを通して市や地域と密接につながり、ゆっくりと地道に社会が発展してゆくための礎になつていくのだと思えます。

あきる野市町内会・自治会連合会の講演会

台風第19号の経験を生かして

研修会幹事長 小針 幸光

連合会では、各町内会・自治会長の知識向上のため、毎年講演会を開催しております。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、市内での講演会を幹事会で検討し、令和元年10月台風19号の災害の記録を基に、これからの災害対策について、地域防災課の宮田防災担当課長に講師をお願いし、開催致しました。



この台風では河川の増水に伴う溢水や堤防の決壊による浸水被害が多く発生しました。自主防災組織の活動や近隣の声掛けにより、事前の避難が効果的でした。護岸等の洗掘により住宅や

道路が崩落、橋梁流出被害等も発生しましたが、幸いにも人的被害は免れ、現在、復旧工事も進んでいるとのことです。

災害の備えとは想定される災害へ準備・用意をするという事で、あきる野市・各地域・家族・個人がそれぞれの立場でいろいろな備え方があるとのこと。例えば、**市が行う備え**は防災意識の向上・啓発、避難所施設の確保、災害用品備蓄等、**家族・個人の備え**は防災に関心を持つ、家具転倒防止物（飲食・薬等）の備蓄、助け合い組織・仲間作り等があり、自然災害は来るものと考え、日頃から災害時への準備を家族と共に考え取り組むことが、災害時の被害を減らす決め手のようです。

また、町内会・自治会でも日頃から災害に対する取組や想定訓練等を行っておくことが、災害発生時の行動・判断が的確に行えるとのことでありますので実行してみましよう！



みんなで地域の支え合い。

「地域の支え合い」草花町内会への加入勧誘活動

草花町内会

多西地区 草花町内会長 塩野 立人

あきる野市町内会・自治会連合会全体が抱える課題として、少子高齢化や核家族化等による町内会離れが挙げられます。当町内会でも同様です、未加入世帯が年々増え続けているのが現状です。豊かに暮らす「コミュニティ」楽しく暮らす「イベント開催」安心に暮らす「地域福祉」安全に暮らす「防災・防犯」を掲げ日頃から親睦と交流を深める「地域の支え合い」を合言葉に町内会活動を行っています。過去の全国での災害発生時には、多くの方が家族や近所の方々の助けにより尊い命が救われ、大きな災害が発生するたびに「地域との絆」の必要性の再認識が高まり「向こう三軒両隣」の復活が期待されています。そのような背景から今般、当町内会では加入の必要性を訴える『加入案内（返信葉書をセット）』を作成し、それを携えて未加入の約200世帯へポスティングし勧誘活動を実施しました。「返信葉書」には、加入する・加入しない・求む相談の3つの選択肢を掲載しました。その結果、現在12世帯の方々が草花町内会へ新加入されました。人に温かい、みんなが安心して暮らせる

「地域の支え合い」に重点を置き、町内会活動を進めています。新規に加入された方々に入会して良かったと思って頂ける草花町内会を目指したいと思います。



▲ポスティングの様子

「地域の子ども達の成長を願って～ハイキングの思い出」

戸倉西部自治会

青少健五日市地区委員会副会長 内倉 浩支

11月7日（土）に、五日市小学校の1年生から3年生までの80名の子ども達と地域の大人20名の総勢約100名でハイキングを行いました。この行事は青少健五日市地区委員会主催によるものです。



当日は穏やかな秋晴れのもと、密にならないように細心の配慮をしながら小学校を出発。入野から、まいまい坂を通過して小机に抜け横沢入の里山を目指しました。

畑に植えたばかりの「のらぼう」の観察や、どんぐりを拾い更に、道端の自然に触れ合いながらみんなでワイワイと歩きました。

横沢入では、五日市小学校の橋本勉先生が何日も前から準備してくださったザリガニを手に持ったり、ハサミの強さを確かめたり、おいおい盛り上がりました。

今年は行事の自粛が多い中で、みんなで一緒に弁当を食べ元気に走り回って、地域の自然にふれあい十分に楽しんでもらえたようです。

コロナ禍であっても、なんとかして子ども達に、『いろいろな体験をさせてあげたい！』『いい思い出を作ってあげたい！』と、地域の皆さんと、戸倉西部自治会員の大人、小学生も加わり検討に検討を重ねて開催できたハイキングでした。



▲ハイキングの様子

編集後記

昨年はコロナウィルスの感染拡大で町内会、自治会の活動が難しい一年でしたが、その中で台風19号の研修会がありました。内容は市の被害状況について、秋川の氾濫により岸がえぐられ崩壊するところもあり、あらためて水害の大きかったことに驚かされました。

広報部会はこのからも皆様に役立つ地区活動の話題を紙上に取上げていきますので、たくさんのお話、情報をお待ちしています。またご多忙の中、快く執筆にご協力いただいた皆様に深く感謝いたしますとともに、今年も一日も早く普通の生活、活動ができるように願っています。

石関 京子
広報部会